しーず君の研究室訪問（第６回）

―大学発 シーズ紹介―

“文系と理系のコラボレーション”で企業の問題解決 実は学生がしーず君!?

福岡大学　経済学部　阿比留正弘（あびるまさひろ） 教授

企業は、社会的責任（CSR）、コンプライアンス、売上低迷、下請からの脱却、新技術の開発といった容易に解決できない問題を抱えています。こうした企業の問題に対して、常識に囚われない発想を持つ学生が関わることで、問題解決の一つのきっかけ作りになります。利害関係のない学生は多くの専門家（教授、技術者、様々な現場担当者）から、中立的立場で様々な情報や英知を集めることができるからです。また学生にとっては、企業との交流で仕事の面白さや厳しさを体験することで天職と出会うことにもなりますし、企業にとっては優秀な人材の確保に繋がります。

どのような研究（取組）ですか？

先生　私は1999年より、ベンチャー起業論という講義を開講しています。この講義では毎週オムニバス形式で様々な分野の講師をお迎えしています。運営は学生主体で、講師となる企業担当者を中心に約10人前後の学生で構成されており、20程度のプロジェクトを立ち上げています。

学生はどんな活動を行っているのですか？

先生　まず、企業へインターンシップに行き、現状を正しく把握します。さらに、学生目線による問題点を発見し、新たな発想で解決提案を行うことを活動の目標とします。また大学内の理系研究室の技術・研究等のシーズを企業に営業する活動も行っています。これら活動の成果発表として毎年９月に「対決（学生と企業によるディベート）」、12月に「ビジネスプランコンテスト」を実施していますので、是非ご覧になり、この取り組みに参加していただきたいと思います。

ビジネスプランコンテスト発表風景

この成果発表会では、ベンチャー起業論を受講する学生が今までの活動で学んだ知識や経験に基づき、インターンシップで訪問した企業の業務改善や問題解決の方法について提案したり、学内の理系研究室の先端技術をビジネス化するためのプラン発表を行ったりしています。それを数チームで競い、優秀な提案を選んでいます。

プロジェクト

①発表 ↓　↑ ②評価

約　50名	特別審査員（企業経営者）
約 300名	学生（発表者以外の受講生）
約　50名	その他（一般の方）

（ビジネスプランコンテストの流れ）

取組事例を教えてください

先生　平成20年には株式会社ふくやの川原社長から若年層の認知度を高める宣伝の依頼がありました。学生は“ふくやの明太子を使用したおにぎりを製造し、直営店で販売する”という案を８月と12月のコンテストで発表しました。

ふくやの川原正孝社長は、「初めは、おにぎりと聞いた時ビックリした。社員と違って、学生は先入観のない発想をするから面白い」と評価をして下さいました。『おにぎり』の案は現在、実施に向けて、商品開発が進み、物流の方法を考える段階まできているそうです。また川原社長は「ベンチャー起業論で行っているインターンシップは通常の取り組みとは違い、学生の新鮮な発想と独自の切り口で企業（私）に提案してくるので、企業にとってもためになる。学生も企業の本当の姿が見えるようになり、地に足がついた就職活動につながる」とコメントされ、学生を激励されました。

今後の方向性は？

先生　この度、中小企業団体中央会の公募事業「高度ものづくり人材育成事業」に採択されました。今後は、更に工学部との連携を強化する予定です。これまで理系研究室の営業を行ってきましたが、これからは、さらに企業ニーズに対応した形で、大学シーズを探す活動を学生と共に取り組んでいきたいと思っています。興味のある企業の皆様は、是非私たちのイベントに参加いただきたいと思います。

コンテストの告知　「対決・理系研究室紹介」
日時：９月５日㈯　13時～18時
　※レセプション（参加費無料）　18時30分～20時
会場：【コンテスト】福岡大学七隈キャンパス８号館831教室
　【レセプション】福岡大学文系センター16階

福岡大学経済学部ベンチャー起業論ＨＰ
http://www.venture-fukuoka.com/~v2008/index.html

《お問合せ先》
㈱ＦＦＧビジネスコンサルティング
担当：今泉　ＴＥＬ092－723－2244　ＦＡＸ092－713－6486